

基本目標と今後10年間の取り組み

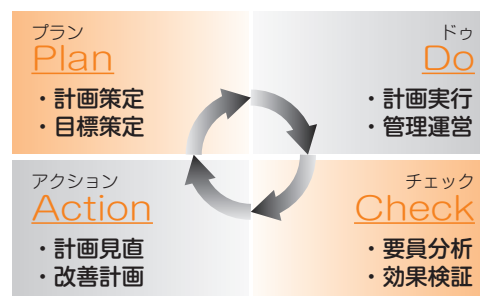
課題を解決するために基本目標を設定し、今後10年間で取り組んでいく内容を定めました。

区分	取組内容	基本目標	取り組みによる効果
水源・水質	水質管理体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・水質管理体制の構築 ・水源汚染リスクの監視・管理の強化 ・水源保全の取り組みの推進 ・適切な水質検査の実施 	安全で良質な水道水を、常時、届けることができます。
水道施設	施設の耐震性確保	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性の確保 ・重要給水施設配水管の耐震性の確保 	大規模な地震時も、水道施設の被害を極力抑えられ、必要な水の供給確保が可能となります。
	施設整備計画の策定	<ul style="list-style-type: none"> ・水道施設の再構築 	効率のよい施設整備を行うことで、更新に要する事業費を削減できます。
利用サービス	給水の安全性に関する支援	<ul style="list-style-type: none"> ・貯水槽水道の衛生対策 ・給水装置の安全性の向上 	給水の安全性が向上し、安心して水道水を利用することができます。
	適切な情報公開、利用者とのコミュニケーションの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・安全性に関する情報公開 ・水道サービス向上に向けた情報収集 	積極的な情報提供やコミュニケーションを図ることにより、水道を身近に感じていただくことができ、より良いサービスの実現が可能となります。
経営	財政基盤の強化と経営の効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・水道未利用者への水道利用の啓発 ・経営状況の改善 	安全な水道水を安定供給できる、健全な経営が維持されます。
	技術力の確保・向上	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の技術力・組織力の強化 ・民間活用の検討 	水道事業の管理・運営レベルが向上し、経営の効率化を図ることができます。
	広域化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・広域化への取り組みの推進 	他事業体との連携を図ることにより、事業運営の効率化・技術レベルの向上が期待できます。
災害時	災害時の緊急体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・応急給水体制と応急活動体制の構築 ・災害時指揮命令系統の理解度向上 ・災害時の資機材調達体制の構築 ・耐震化事業と応急給水に関する需要者理解度向上 	被災時における応急給水を、確実にかつ円滑に行うことができます。

フォローアップ ～今後のビジョンの進め方～

本ビジョンで示した施策を確実に実施していくため、3つの行動を軸に、事業運営に取り組みます。

- ①本ビジョンの目標の達成状況、進捗状況を公表します。
- ②P D C Aサイクル（計画→実行→評価→改善）に基づき、継続的に改善を図りながら、効果的・効率的に事業を運営します。
- ③変化する事業環境に対応するために、必要に応じてビジョンの見直しを検討します。



『登別市水道事業ビジョン』は本編と資料編で構成されており、水道グループ、各支所、市民会館、市のホームページでご覧いただけます。